



成田 あれ・これ



令和7年4月号 第358号

発行: 一般社団法人成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

能登半島復興祈願 成田山奉納 第35回

令和7年

成田太鼓祭



4月19日(土)
20日(日)

日本屈指の太鼓の祭典「成田太鼓祭」が開催されます。陽春の大気を震わせ、身体の奥底に響き渡る太鼓の轟音、圧倒的な迫力で繰り上げられる響演を是非、ご堪能ください。

☆千願華太鼓☆ 時間: 両日9時30分より 会場: 成田山大本堂前

出演者が一斉に太鼓を打ち鳴らすという祭の幕開けにふさわしい華やかなイベント。

☆成田山千年夜舞台☆ 時間: 19日(土)17時より 会場: 成田山大本堂前

ライトアップされた幽玄な雰囲気の中で繰り上げられる特別な演奏です。

☆千鼓万礼パレード☆ 時間: 20日(日)15時より 会場: 表参道入口～成田山門前

成田山表参道入口から成田山総門前までを、個性溢れる太鼓チームが賑やかに練り歩きます。

※この他、成田山表参道に設置した特設ステージにて、各太鼓団体の演奏が繰り上げられます。力強い太鼓の音と躍動感あふれるパフォーマンスをお楽しみください。



【開催場所】 成田山新勝寺、成田山表参道

【開催時間】 4月19日(土)9時30分～19時 4月20日(日)9時30分～17時

【交通規制】 JR 成田駅～成田山門前(鍋店かど)

4月19日(土)9時45分～20時 4月20日(日)9時45分～17時30分

【お問合せ先】 成田太鼓祭実行委員会事務局 TEL 0476-24-3232

第33回不動の大井戸茶会

「不動の大井戸」から汲み上げられた水を用いて、お茶会が開催されます。

【日時】4月13日(日)～4月29日(祝・火)の土曜・日曜・祝日
10時～15時頃(定員に達し次第受付終了)

【場所】なごみの米屋總本店 お不動様旧跡庭園

(雨天の場合は、總本店2階 成田生涯学習市民ギャラリー)

【お問合せ先】 成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



成田のおどい花見

約300年前の元禄年間頃から伝承されているといわれ、1964年に千葉県無形民俗文化財に指定されました。

成田の文化や人々の想いを今に伝える古式ゆかしい踊りです。郷部にある埴生神社から始まり16の神仏を参拝し、踊りを奉納します。

【日 時】 4月3日(木)7時～17時

【お問合せ先】 成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



成田山花まつり

お釈迦さまのお誕生日をお祝いして、すべての人々の幸せを願い、花まつり行事が開催されます。

【お問合せ先】 成田山新勝寺花まつり係 TEL 0476-22-2111(9時～16時)

花御堂 灌仏 参詣された方は自由に花御堂の誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いすることができます。

【日 時】 4月1日(火)～8日(火)6時～16時 【場 所】 成田山釈迦堂前

降誕会法要 お釈迦さまのお誕生日をお祝いする法要です。どなたでも自由にお堂に上り参詣ができます。

【日 時】 4月8日(火)10時～ 【場 所】 成田山釈迦堂

千葉県立房総のむら 実演・展示「普段の食事」

かつての普段の食事であった麦御飯と味噌汁、煮物と漬物を季節感豊かに再現します。

【日 時】 4月12日(土)、13日(日) ※実演は12日、午後から展示します。

【休 館 日】 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館)

【お問合せ先】 千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

小御門神社 春の例祭

立身流の奉納演武、成田市土室区神楽保存会による神楽奉納などの奉納行事が執り行われ、近郷近在から、多数の参拝者が訪れ賑わいます。

【日 時】 4月29日(祝・火)

【お問合せ先】 小御門神社 TEL 0476-96-0449



成田山門前町を行く～その③

成田山の最初の江戸出開帳の宿寺は活気溢れる街、深川の永代寺でした。永代寺境内の富岡八幡宮社地に、本尊である不動明王が成田から移され鎮座しました。開帳期間は、元禄16年(1703年)4月27日～6月28日までの60日間で、大変多くの参詣客が訪れました。

成田山はこの出開帳により、新本堂建立の借財を大きく上回る2,120両もの収入を得ることができ、その返済ばかりでなく、鐘楼などの建立費までも捻出できたといえます。

第1回目の出開帳では、江戸城三の丸で、五代将軍徳川綱吉の生母、桂昌院の礼拝を受けました。御開帳が終了して約1週間後の7月4日、深川永代寺内の開帳小屋に安置されていた成田不動は、成田山中興第一世貫首 照範上人に護られて、江戸城三の丸に向かいました。大手門を潜ると、江戸城三の丸に桂昌院の住む御殿が建っており、城内で成田不動は桂昌院の礼拝を受け、金10両の奉納を受けました。将軍の母から礼拝を受けた事は、成田山の寺格を著しく高め、成田山の名前が全国区になった事を示す象徴的な出来事でした。

桂昌院は大変信心深い女性でした。綱吉の母である桂昌院が成田不動を厚く信仰すれば、綱吉に仕える多くの女性達もそれに倣うのはごく自然なこと。大名家の奥方からの奉納金が続いたことも、桂昌院の篤信と大いに関係があったといえるでしょう。このように成田山新勝寺、最初の江戸出開帳は大成功に終わります。

江戸での出開帳はさかんに行われ、新勝寺では江戸時代に合計10回行われました。このように出開帳を通じて江戸での知名度が高まるにつれ、成田山への参詣客も増加していったのです。

イベント等の関連情報については、FEEL 成田(<https://www.nr+k.jp>)をご覧ください。